

**第494回 11月24日開催  
出席委員(50音順・敬称略)**

荒巻 裕	伊藤 芳明
大村 英昭	木下 明美
倉光 弘己	黒田 勇(書面参加)
櫻井 美幸	

**ラジオ番組「チョアオ! 韓国」**

10月3日(日)午後7時30分~8時00分放送分  
11月7日(日)午後7時30分~8時00分放送分

毎日放送の第494回番組審議会は11月24日大阪市北区の本社で開かれ、10月3日と11月7日に放送したラジオ番組「チョアオ! 韓国」を審議した。韓国大衆文化のブーム・韓流(カンリュウ)が日本中にひろがっているが、この番組は韓国語に堪能なMBS八木早希アナウンサーが映画、音楽、グルメなどの韓国文化をさまざまな角度から紹介。日韓文化交流の最新状況も伝える。

**委員の主な意見**

- \* 八木アナウンサーは明るくて雰囲気も柔らかく、いい個性が出ている。流暢な韓国語も耳に心地よい。特集も内容が面白く全体的に楽しい番組。  
韓流ブームをどうとらえて、韓国の歴史についてどう消化しているのかという点については若干ひっかかりを覚えた。
- \* 日韓交流を高く掲げるのなら、情報として伝えるべきことは伝えてほしい。例えばスポーツ選手や芸能人の兵役逃れ問題を扱うときは、韓国の南北関係での国防意識の変化は外せない話だと思う。  
番組の狙いはすごくいいと思うので期待している。
- \* 今の韓流ブームを見ていると、戦後世代の人間としてよくこれだけ変わったなという気がする。深いレベルで、本当の文化交流ができていくのかという思いがあり、またいろいろ難しいことが背後にあるので、この番組を期待半分、不安半分で見つめている。
- \* フランスの調香師は千数百の匂いをかぎ分けるという。なぜそれが識別できるかという、匂いの一つひとつに名前をつける。普通の人はいい匂いをかぐと、感覚脳が刺激されるが、かれらは言語脳が刺激されるのだ。  
ラジオで「おいしい」とか言うだけではなく、味とか匂いをどう伝えるか、基本的な知識や訓練が必要である。

\* 「イブニングレーダー」「アングル」など時事性が強いものを長年やってきた中からこそ生まれた番組企画。ブームを反映して始まっているが、付け焼刃ではない内容のある番組を作っていこうという熱意が伝わってくる。

韓国語がちゃんとできて、愛着を持って韓国を語れるスタッフが登場する番組はほかに知らない。そのユニークさ、有利さの活用を。

\* ブームの今だからこそ韓国についてしっかり学んでみたいという人は多いと思う。ソフトな番組の中にワンポイントレッスン、韓国学というようなコーナーがあってもいいのではないか。韓国通のジャーナリストや評論家の話が聞けるコーナーを。

\* 八木アナのキャラクターには以前から注目していて、語学力を生かした番組なりコーナーがあれば面白いと思っていたが、今回それが実現して期待が大きい。

日本人がまだ知らないところをちょっと違う角度で紹介してほしい。スポーツ文化、農村や地方都市の様子など、他であまり取り上げないもので面白く料理できるものはいっぱいあると思う。